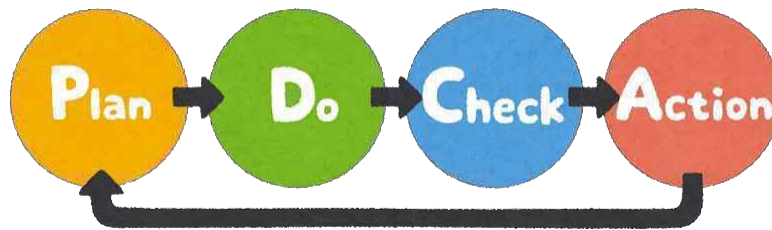


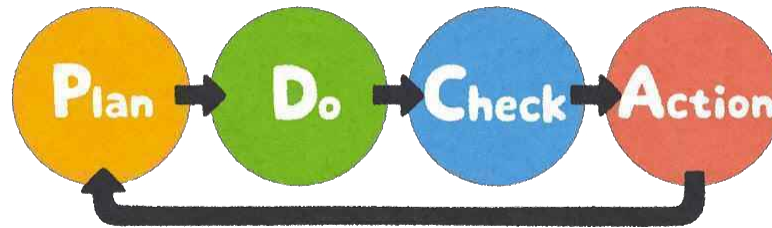
魅力ある学校づくり 調査研究事業



生徒の声をどのように
自校のPDCAサイクルに活かしていくか

菊川市立岳洋中学校
生徒指導主事
高塚和弘

魅力ある学校づくり 調査研究事業



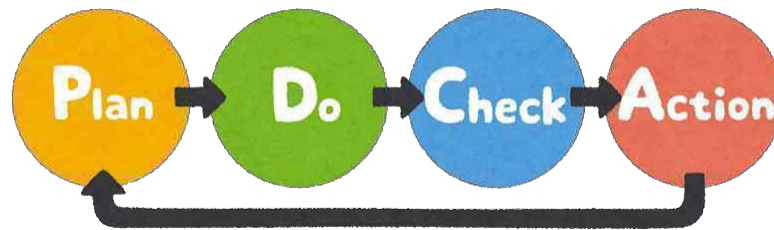
生徒の声をどのように
自校のPDCAサイクルに活かしていくか

子どもにとって魅力ある学校とは？

子どもへのインタビュー



魅力ある学校づくり 調査研究事業



生徒の声をどのように
自校のPDCAサイクルに活かしていくか

1年目 事業の理解と導入

岳洋中学校で取り組んできた PDCAサイクル (H29~H30)

P

推進部会⇒運営委員会⇒職員会議

前サイクルを受けての教育活動の提案

D

会礼プレゼン⇒授業・特別活動(行事)

提案の実践、調整、しかけ直し

C

生徒アンケート

身に付けさせたい力(幸福チケット)、生活状況

A

推進部長(生活・学習・特活)による考察

しかけたことに対する考察と次のサイクルに向けて

次の
サイクル
へ

年間
5
サイクル

岳洋中学校で取り組んできた PDCAサイクル (H29~H30)

会礼プレゼンによる意識づけ

なぜこんなにも人を引きつけるのか？



元ラグビー日本代表
主将
廣瀬俊朗さん

どんな人でもありのままの姿で
活躍できる多様性のスポーツ

ラグビーには (10) のポジションがあり、15人で1つのチームをつくります。小柄な人も太った人も背の高い人も、自分の特技や特徴を活かし、プレーできる。自分を無理に変えなくても、チームに認められて居場所を見つけ、自己肯定感を持てる。どんな人でもありのままの姿で活躍できる多様性のスポーツだと気づきました。

特別活動推進部



合唱実行委員
推進委員

閉会セレモニー

最高の岳洋祭合唱の部を

選抜合唱

たくさんの挑戦

「自己を高める」ことは
「挑戦」すること

今日から
後期生徒会、専門
委員会スタート

「自己を高める」ために「学習」では何を意識したらよいのか？



何か新しいことを始めるのではなく、初心に戻って振り返ることをしてみよう。

授業のはじめ・終わりのあいさつや返事

机・身の回りの整頓

話を聴く姿勢

必要なものを準備万端にする

正しい文字

自己を高めようとジャンプするには、まず足下が固まっているか確かめよう！

主体的に取り組む力

基本的生活習慣

生活推進部



自分は大丈夫かな？

黙動清掃は？

給食準備は？

服装は？

登下校の時間や
マナーは？

・安心して生活できる環境を目指す！
・1年の良い締めと新たな年へ！

岳洋中学校で取り組んできた PDCAサイクル (H29~H30)

生徒の声を聞くアンケートづくり

「光輝2」振り返りアンケート

年 組 番 ()

光輝2のテーマは「自己を磨く」でした。期末テストや生徒会のキャンペーン活動、中体連への取り組みの中で、自己を高めることができたでしょうか、光輝2の学習・行事・学校生活を振り返ってみましょう。そして、光輝3が充実したものになるよう、新たに目標を立てられるといいですね。

記入の仕方

○以下の質問項目について5・4・2・1の数字に○をつけて回答してください。

5 (かなり当てはまる)・4 (まあ当てはまる)・2 (あまり当てはまらない)・1 (ほとんど当てはまらない)

項 目	番号に○をつける
① 学校に信頼できる先生はいますか。	5・4・2・1
② ICT 機器を使った授業は分かりやすいですか。	5・4・2・1
③ 話し合いを通じて、考えが深まりましたか。	5・4・2・1
④ 家で予習をしますか。	5・4・2・1
⑤ 家で復習をしますか。	5・4・2・1
⑥ 自分には良いところがあると思えますか。	5・4・2・1
⑦ 安心して「わからない」が言うことができますか。	5・4・2・1
⑧ 人の役に立とうと自分から行動する機会がありましたか。	5・4・2・1
⑨ 自己を高めようという気持ちで生活することができましたか。	5・4・2・1
⑩ 授業の心構え（授業の準備）ができていますか。	5・4・2・1
⑪ 授業の心構え（あいさつ）ができていますか。	5・4・2・1
⑫ 授業の心構え（場面に応じた取組）ができていますか。	5・4・2・1

◎ 光輝2に獲得できた『幸福チケット』の数字に○をつけてみましょう。(いくつでも)

○知識・技能

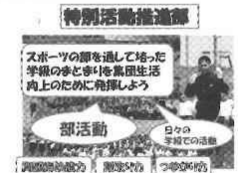
- 1 言語を使いこなす力 (言語を読み取る、聞き取る、書き表す、言葉にする力)
- 2 数量を使いこなす力 (数や量を正しく処理する力)
- 3 情報リテラシー (情報を整理する、扱う力)

○思考力・判断力・表現力

- 4 問題解決能力 (問題を見つけ、解決しようとする力)
- 5 表現力 (自分の考えを、言葉等を通じて伝える力)
- 6 多面的多角的思考力 (様々な角度からもの見方ができる力)
- 7 想像力 (実際に経験していないことを、こうなるのではないかと考えられる力)
- 8 創造力 (知識や技能を使って、新しいものを創り出す力)
- 9 論理的判断力 (多様な解決方法から、適切な方法を選び、決定実行する力)

○学びに向かう力・人間性

- 10 メタ認知 (自分と他人の違いに気づき、認める力)
- 11 主体的に取り組む力 (自分の意見や考えを押し、物事に取り組む力)
- 12 自己肯定感 (自分の良いところが分かり、大切にできる力)
- 13 基本的生活習慣 (望ましい生活習慣を続ける力)
- 14 つながり力 (つながり【人・もの・こと・社会・自然】を生かして、より良く生活しようとする力)
- 15 段取り力 (目標を立てて実行する力)



生活推進部 光輝2

・光輝1 ①学校生活の改善(安全・健康・清潔・健康)

光輝2 【人の役に立とうと自ら行動しよう!】
【自己を高めようという気持ちで生活しよう!】

①基本的生活習慣

(望ましい生活習慣を続ける力)
主体的に取り組む力
(自分の意見や考えをもって物事に取り組む力)



岳洋中学校で取り組んできた PDCAサイクル (H29~H30)

しかけに対する考察

2019.10.25

光輝3 生徒用アンケート考察 (生徒指導主事)

アンケート項目	目標値	1年生					2年生					3年生				
		光輝2	光輝2	光輝3	光輝3	差	光輝2	光輝2	光輝3	光輝3	差	光輝2	光輝2	光輝3	光輝3	差
魅 学校が楽しい	90	93.3	6.7	91.6	8.4	-1.7	91.9	8.1	91.2	8.8	-0.7	89.9	10.1	89.5	10.5	-0.4
魅 みんなで何かをする楽しい	90	95.4	4.6	95.4	4.6	0	94.9	5.1	93.4	6.6	-1.5	94.1	5.9	96.0	4.0	-1.9
魅 授業に主体的に取り組む		92.5	7.5	91.6	8.4	-0.9	91.1	8.9	89.0	11.0	-2.1	91.6	8.4	91.1	8.9	-0.5
魅 授業がよくわかる	85	85.7	14.3	86.3	13.7	+0.6	85.3	14.7	76.7	23.3	-8.6	89.1	10.9	84.4	15.6	-4.7
1 信頼できる先生がいる	85	83.8	16.2	81.3	18.8	-2.6	89.1	10.9	91.7	8.3	+2.6	90.1	9.9	91.0	9.0	-0.9
2 ICT 機器、わかりやすい	90	93.8	6.2	93.8	6.3	-0.1	92.2	7.8	96.2	3.8	+4.0	98.3	1.7	97.5	2.5	-0.8
3 話合いで、考え深まる	95	97.7	2.3	94.5	5.5	-3.2	96.1	3.9	93.2	6.8	-2.9	98.3	1.7	98.4	1.6	+0.1
4 家で予習	75	69.2	30.8	71.1	28.9	+1.9	57.4	42.6	52.6	47.4	-4.8	70.2	29.8	63.9	36.1	-6.3
5 家で復習	85	86.2	13.8	77.3	22.7	-8.9	73.6	26.4	72.9	27.1	-1.7	86.0	14.0	88.5	11.5	-2.5
6 自分に良いところある	85	75.4	24.6	77.3	22.7	+1.9	87.6	12.4	82.0	18.0	-5.6	83.3	16.7	86.9	13.1	+3.6
7 安心、わからない言える	92	75.4	24.6	79.7	20.3	+4.3	89.9	10.1	91.0	9.0	+1.1	93.4	6.6	94.3	5.7	+0.9

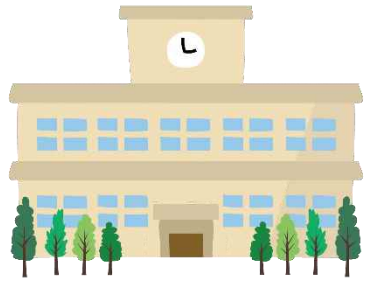
考察 各項目について、光輝2との比較

- ・「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業に主体的に取り組んでいる」の項目では、わずかに否定的な推移が見られる。それぞれの項目において、『光輝1、2から引き続き否定的な回答をしている』といった『その生徒が否定的な回答をしている理由が想定できる』か、どうかは重要である。もしそうでなければ新たな表れとして、注意深く見守ることや教育相談、三者面談の機会を活用し、個に寄り添うことも必要ではないだろうか。
- ・「授業がよくわかる」については、2、3年生で大きくポイントダウンしている。9月の実力テストを経て、自分の学力をあらためて客観的に認識したことや進路を見据え、「今よりもっと授業がわかるようにならねばならない」といった思いが反映されているのだろうか。または、我々の授業スキルや授業内容が高度になってきているためか。それぞれ、教科担任の立場で、目の前の生徒の実態をイメージし、その理由として自分が納得できるものを見つけ出し、自身の授業や学級、学年経営に活かしてほしい。
- ・「信頼できる先生がいる」の項目では、1年生の実態と2、3年生の実態で大きな差が見られている。この項目についても、『光輝1、2から引き続き否定的な回答』『理由が想像できる具体的なエピソード』の視点で、それらの生徒をとらえる必要がある。また、1年生については、小学校からの「生徒の教師との信頼関係の捉え方」についての理解も必要であり、数字だけの安易な解釈は難しい。学級担任、学年主任それぞれの立場で考察していただきたい。
- ・「安心してわからないと言える」については、どの学年でも肯定的に推移している。特に1年生では大きく向上しており、1年生独自でしかけている「わからん印」がわからないと言える手立てになっているのではないだろうか。そういった手立てが効果のあるものであったのかについて、生徒の声から考察することも必要である。

今後に向けて

- ・光輝1~3を通して、それぞれの学年の様子や学級の生徒の様子が掴めてきた頃ではないだろうか。掴めてきたことで、具体的な支援を個別に行ってくれている先生方や学年としての取り組みにつなげてくださっており、大変ありがたい。今後も、魅力ある学校づくりの取り組みを活かし、生徒の実態に合わせて、思い切った取り組みをしかけてほしい。アンケートの数字の上下だけでは、対処的な取り組みばかりになりがちであるが、先生方の学年集団や学級集団の手応えこそが、一番確かな生徒理解であると信じている。だからこそ、ここは予防的な視点や開発的な視点で、思い切ったアクションを起こしてほしい。最低限のベースは大事であるが、『多様性』という岳洋中学校の強みを活かして、魅力ある学校づくりを目指してほしい。

魅力ある学校づくり 調査研究事業の導入にむけて



魅力ある学校



効果のある
教育課程取組



子どもが安心
して通える。
学校が楽しい

P D C A



不登校数削減



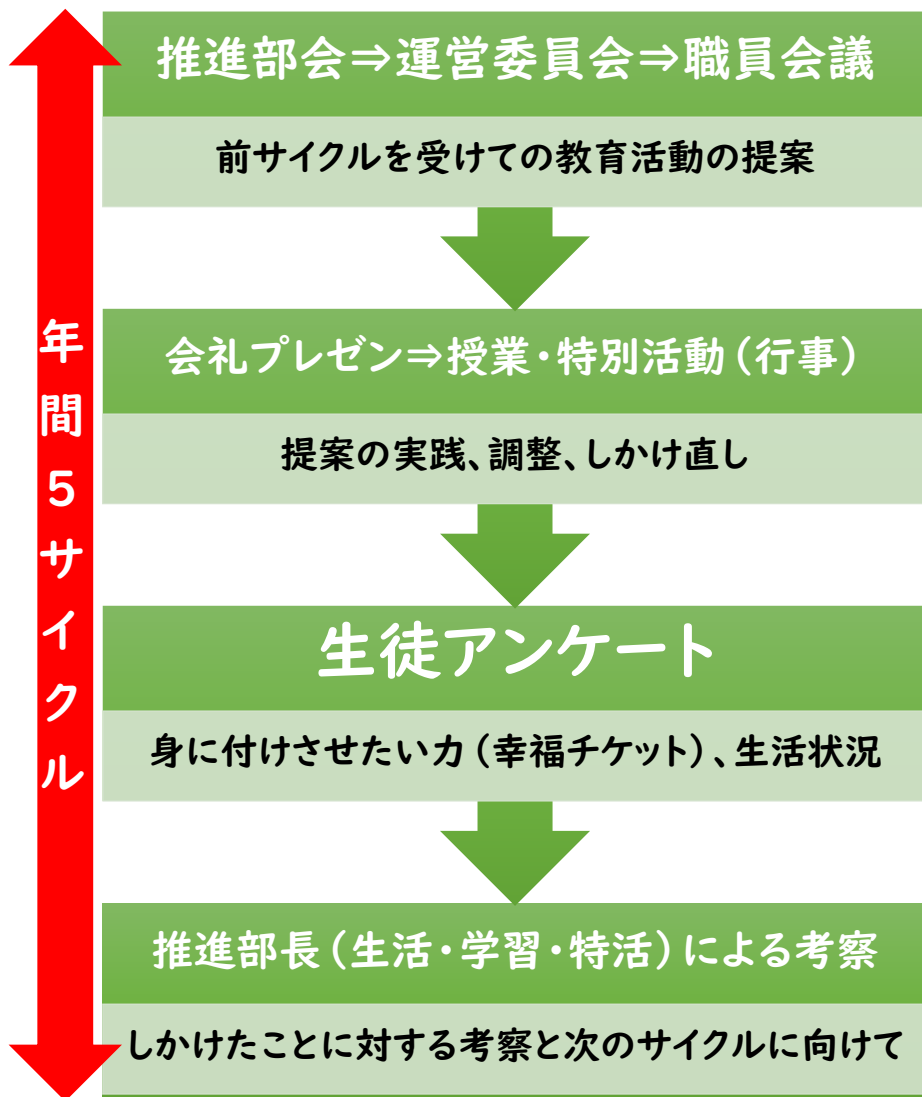
生徒の声



新規の不登校
が出ない



これまでのPDCAサイクル 魅力ある学校づくり調査研究事業



これまでのPDCAサイクル 魅力ある学校づくり支援事業

これまでの
PDCA
サイクル

・ 5サイクル

魅力ある
学校づくり
調査研究
事業

・ 3サイクル

これまで

+

魅力

岳洋中
独自

2つのPDCAサイクルがずれており、煩雑

従来の取組に、「魅力ある」のサイクルを組込

岳洋中学校のPDCAサイクル

推進部会⇒運営委員会⇒職員会議

前サイクルを受けての教育活動の提案

意識調査から学年単位で目標設定(学年部会 月1回)

意識調査を元に職員会議の提案をカスタマイズ

会礼プレゼン⇒授業・特別活動(行事)

提案の実践、調整、しかけ直し

生徒アンケート 2種類

身に付けさせたい力(幸福チケット)、生活状況、意識調査

考察(推進部長・学年部)

しかけたことに対する考察(推進部長)

カスタマイズしたことに対するズレを考察(学年部)

年間5サイクル

岳洋中学校に必要な準備

PDCAサイクルが回せるものにするための事前準備

プランニングや考察を行うための「学年部会」を月1回設定



子どもの実態や声にとことん寄り添うため、
学校でこだわる項目はあえて設定しない。

学校が楽しい みんなで何かをするのは楽しい
授業に主体的に取り組んでいる 授業がよくわかる



各学年部のプランニング

P

- ① 生徒の声をもとに、次のしかけを個人で考える
- ② 学年部会で、着目する項目と数値目標を決める
- ③ 具体的なアクションを考える

ワーク: 子どもの声(岳洋中)を分析

データ 10月調査において「あてはまる」と回答した生徒の割合



データ→課題

PDCA×4回目 令和元年度 1月～3月の取組に向けて

① 12月実施調査において「あてはまる」と回答した割合



② 目標にこだわる項目とその理由
 ③ 目標にこだわる項目と数値目標(1年後の3月に10人問いたら何人があてはまるかと掲げるか?)

1年生 ア「学校が楽しい」目標: 10人中8人が当てはまる。
 2年生 ウ「授業に主体的に取り組んでいる」目標: 10人中4人が当てはまる。
 3年生 イ「みんなで行きたい」目標: 10人中7人が当てはまる。(70%)

④ 1～3月に具体的に仕かける内容
 1年生 高め合う集団づくり(イ、ウの項目)
 2年生 クラスと授業の中で積極的に関わり合い、学びあう機会を増やす。
 3年生 各科目の学習態度を振り返り、改善策を話し合う。

	1年生	2年生	3年生
1月	MVPの学習態度を振り返り、改善策を話し合う。 「今日のMVPの学習態度を振り返り、改善策を話し合う。生徒にもっと意識を持って行動しよう。」	不定時制の内容を事前に読み、それを予定通りに履かせることで、授業に集中してもらう。	各学年の目標達成率を振り返り、改善策を話し合う。
2月	MVPの学習態度を振り返り、改善策を話し合う。 「今日のMVPの学習態度を振り返り、改善策を話し合う。生徒にもっと意識を持って行動しよう。」	不定時制の内容を事前に読み、それを予定通りに履かせることで、授業に集中してもらう。	各学年の目標達成率を振り返り、改善策を話し合う。
3月	MVPの学習態度を振り返り、改善策を話し合う。 「今日のMVPの学習態度を振り返り、改善策を話し合う。生徒にもっと意識を持って行動しよう。」	不定時制の内容を事前に読み、それを予定通りに履かせることで、授業に集中してもらう。	各学年の目標達成率を振り返り、改善策を話し合う。

着目する項目は学年部ごとに考える

→ 『しかけたことと生徒の声とのズレ』に着目して、
 継続したしかけと新たなしかけを考える

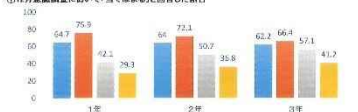
各学年部の具体的ななしかけ

D

- ①しかける内容を『高め合う集団づくり』と『わかる授業づくり』に分けて計画
- ②学年の生徒に合った方法で職員会議に提案があったことを中心に、カスタマイズしてしかける

PDCA X 4回目 令和元年度 1月～3月の取組に向けて

①12月度調査票において「当てはまる」と回答した割合



②課題（ごわかる項目とその理由）

「ごわかる」項目は、12月の調査票において「ごわかる」と回答された項目です。その理由を、ご回答いただいた先生方から伺っています。ご回答いただいた先生方から伺った理由を、この表にまとめました。ご回答いただいた先生方から伺った理由を、この表にまとめました。

③目標（ごわかる項目と教師目標（1年後の3月に10人聞いたら何人が当てはまるかと解答するか）

1年生 ア: 学習が楽しいと目標、10人中8人が当てはまる。
 2年生 ウ: 授業に主体的に関与している目標、10人中8人が当てはまる。
 3年生 イ: いかなる状況でも主体的に関与している目標、10人中7人が当てはまる。(19%)

④ 1～3月に具体的にしかける内容

学年	高め合う集団づくり(ア)の項目	わかる授業づくり(イ)の項目
1年生	「はなから話し合い」の授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。	「わかる授業づくり」の授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。
2年生	「クラス」授業の実践を推進し、授業実践の成果を共有する。	「わかる授業づくり」の授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。
3年生	「個別学習」の授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。	「わかる授業づくり」の授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。

学年	1年生	2年生	3年生
1月	「今日のMVP」授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。	「今日のMVP」授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。	「今日のMVP」授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。
2月	「今日のMVP」授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。	「今日のMVP」授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。	「今日のMVP」授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。
3月	「今日のMVP」授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。	「今日のMVP」授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。	「今日のMVP」授業実践を推進し、授業実践の成果を共有する。

?	?	?	?
わからん	わからん	わからん	わからん
?	?	?	?
わからん	わからん	わからん	わからん
?	?	?	?
わからん	わからん	わからん	わからん
?	?	?	?
わからん	わからん	わからん	わからん

!	!	!	!
わかった	わかった	わかった	わかった
!	!	!	!
わかった	わかった	わかった	わかった
!	!	!	!
わかった	わかった	わかった	わかった
!	!	!	!
わかった	わかった	わかった	わかった

しかけたことを見える化し、価値づける

各学年部の具体的ななしかけ（1年生）

目標指標「学校が楽しい」



わからん印＆わかった印で授業の困り感を共有
学級MVPを授業で活躍した人から選ぶ取組

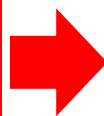
授業がよくわかる → 学校が楽しい

各学年部の具体的ななしかけ（2年生）

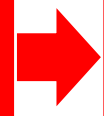
目標指標「授業に主体的に取り組んでいる」



授業に主体的に取り組ませたい



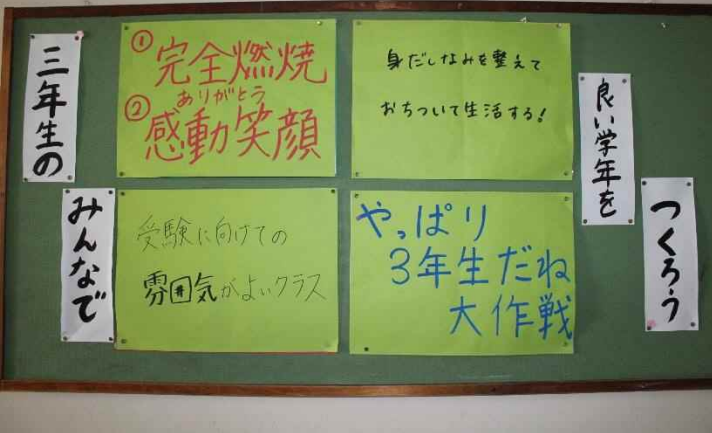
アンケート考察から、行事で大きく伸びる傾向
日常をイベント化し、行事の成長を持続する試み



不登校
少ない

各学年部の具体的ななしかけ（3年生）

目標指標「みんなで何かをするのは楽しい」



中2 3月
アンケート
低調

不登校
相談室登校
多い

みんなで何かをする楽しさを感じさせたい
学校が楽しいところだと感じてほしい

生徒の声を2つのアンケートから聞く

C ①『魅力ある学校づくり』の項目と『菊川市・小中連携・推進部・研修・幸福チケット』の項目で実施 ②それぞれの項目について、担当者（推進部長・学年部）が考察し、全職員で共有

学校生活に関するアンケート

(中学校)

① 現在の学校生活について、あなたはどのように感じていますか。当てはまるものを下の1から4の中から一つずつ選び、その番号に○を付けてください。

	1	2	3	4
ア 学校が楽しい・・・	1	2	3	4
イ みんなで何かをするのは楽しい・・・	1	2	3	4
ウ 授業に主体的に取り組んでいる・・・	1	2	3	4
エ 授業がよくわかる・・・	1	2	3	4

② 10月（前期調査）から今までに、次のようなことを、この学校の生徒からされたり、反対にこの学校の生徒にしたりしましたが、当てはまるものを下の1から4の中から一つずつ選び、その番号に○を付けてください。

	1	2	3	4
オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした（暴力を受けた）・・・	1	2	3	4
カ 暴力ではないが、いじわるをされた。イヤな思いをさせられたりした・・・	1	2	3	4
キ 叩いたり、けったり、強く押したりした（暴力をふるった）・・・	1	2	3	4
ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした・・・	1	2	3	4

「光輝2」振り返りアンケート

(年 級 員)

光輝2のテーマは「自らを磨く」でした。来月12月学年最後のキャンパス活動、中体連への取り組みの中で、自らを磨くことができただろうか。光輝2の学習・行事・学校生活を振り返ってみたい。そして、光輝2が実現したものにちなみ、貴校に目標を立ててもらいたい。

記入の仕方
○以下の質問項目について「5・4・3・2・1」の数字に○をつけて選んでください。
5（かなり得意/得意）・4（やや得意/得意）・3（あまり得意/得意）・2（やや得意/得意）・1（ほとんど得意/得意）

項 目	番号に○をつける
① 学校が目標できる先生はいますか。	5・4・3・2・1
② ICT機器を使った授業は身がかりやすいですか。	5・4・3・2・1
③ 高い声で話して、文字が読めましたか。	5・4・3・2・1
④ 家で予習をしますか。	5・4・3・2・1
⑤ 家で復習をしますか。	5・4・3・2・1
⑥ 自分に足りないところがあると思えますか。	5・4・3・2・1
⑦ 安心して「わからない」は言うことができますか。	5・4・3・2・1
⑧ 人の役に立ちたいと自分から行動する機会がありましたか。	5・4・3・2・1
⑨ 自己を高めようという気持ちで生活することができましたか。	5・4・3・2・1
⑩ 授業の心算（授業の準備）ができていますか。	5・4・3・2・1
⑪ 授業の心算（あいさつ）ができていますか。	5・4・3・2・1
⑫ 授業の心算（挨拶の回数）ができていますか。	5・4・3・2・1
⑬ 学習・集財で自分にとって必要な学習に意を配っていましたか。	5・4・3・2・1
⑭ 小テストや定期テスト後自分のためになるように振り返りができましたか。	5・4・3・2・1
⑮ 直前の授業を通じて、自分や他者に対する関わり方を考えましたか。	5・4・3・2・1
⑯ リーダー（教員委員、学問委員、部長等）として、必要な行動を考案したり、指示を出したりすることができましたか。	5・4・3・2・1
⑰ ソロプロジェクト、グループの役割分担に対し、マネジメントを担ったり、協力したりできましたか。	5・4・3・2・1
⑱ 1年や2年生先輩等と、それぞれの目標を立て、達成のために様々な方法を考えたりしましたか。	5・4・3・2・1
⑲ 授業中に分かっていなかったことが、友評や教師評などで、授業後にわかるようになりましたか。	5・4・3・2・1
⑳ 直前に習得して授業に取り組みすることができましたか。	5・4・3・2・1
㉑ 授業の最後が、学習した内容を、自分の言葉などで総括できましたか。	5・4・3・2・1

③ 光輝2に連携できた『幸福チケット』の数字に○をつけてみましょう。（いくつでも可）

○知識・技能

- 1 言語を使いこなす力（言語を読み取る、聞き取る、書き表す、言葉にする力）
- 2 数量を扱う力（数量を正しく処理する力）
- 3 情報リテラシー（情報を整理する、扱う力）

○思考力・判断力・表現力

- 4 問題解決能力（問題を見つけ、解決しようとする力）
- 5 表現力（自分の考えを、言葉等を適切に伝える力）
- 6 多面的多角的思考力（様々な観点からの見方ができる力）
- 7 想像力（想像に挑戦していないことを、こうなるのではないかと考えられる力）
- 8 創造力（知識や技能を使って、新しいものを創り出す力）
- 9 論理的判断力（多様な解決方法から、適切な方法を選び、実行する力）

○学びに向かう力・人間性

- 10 メタ認知（自分と他人の違いに気づき、認める力）
- 11 主体的に取り組む力（自分の考えや考えを持って、物事に取り組む力）
- 12 自己肯定感（自分の良いところが分がり、大切にできる力）
- 13 基本的学習態度（健全な生活習慣を養える力）
- 14 つながり力（つながり【人・もの・こと・社会・自然】を生かして、より良く生きていこうとする力）
- 15 読取力（目標を立てて実行する力）

特別活動推進部

特別活動の中心は「生活推進部」です。生活推進部は、生徒の生活態度を向上させるために活動しています。

生活推進部 光輝2

・特別1（生活態度向上のための活動）
・特別2（生活態度向上のための活動）
・特別3（生活態度向上のための活動）

生活推進部は、生徒の生活態度を向上させるために活動しています。特別活動の中心は「生活推進部」です。

考察から次のアクションへ

A

- ・推進部として、次のステージでしかける内容に生徒の声を反映させる。
- ・学年部として、次のステージにしかける内容に生徒の声を反映させる。

光輝3 生徒用アンケート調査（生徒指導主事）

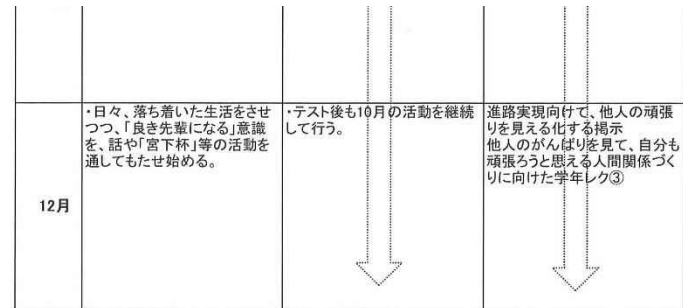
2019.10.25

アンケート項目	1年生					2年生					3年生					
	結果	目標	差	変動	変動率	結果	目標	差	変動	変動率	結果	目標	差	変動	変動率	
1 学校が楽しい	90	93.3	-3.3	91.6	8.4	-1.7	91.9	8.1	91.2	8.8	-0.7	89.9	10.1	89.5	10.5	-0.4
2 みんなで何かをする楽しい	90	95.4	-5.4	95.4	4.6	0	94.9	5.1	93.4	6.6	-1.5	94.1	5.9	96.0	4.0	-1.9
3 授業がわかる	92.5	92.5	0	91.6	8.4	-0.9	91.1	8.9	89.0	11.0	-2.1	91.6	8.4	91.1	8.9	-0.5
4 授業がよくなる	85	85.7	-0.7	86.3	13.7	-0.6	85.3	14.7	76.7	23.3	-8.6	89.1	10.9	84.4	15.6	-4.7
5 授業で先生がいる	85	83.8	1.2	81.3	18.8	-2.6	89.1	10.9	91.7	8.3	+2.0	90.1	9.9	91.0	9.0	-0.9
6 ICT機器、わかりやすい	90	93.8	-3.8	93.8	6.3	-0.1	92.2	7.8	96.2	3.8	+4.0	98.3	1.7	97.5	2.5	-0.8
7 話し合いで、考え深まる	95	97.7	-2.7	94.5	5.5	-3.2	96.1	3.9	93.2	6.8	-2.9	98.3	1.7	98.4	1.6	+0.1
8 家で学習	75	69.2	6.8	71.1	28.9	-1.9	57.4	42.6	62.6	47.4	-4.8	70.2	29.8	63.9	36.1	-6.3
9 家で学習	85	86.2	-1.2	77.3	22.7	-8.9	73.6	26.4	72.9	27.1	-1.7	86.0	14.0	88.5	11.5	-2.5
10 自分に合ったところある	85	75.4	9.6	77.3	22.7	-1.9	87.6	12.4	82.0	18.0	-5.6	83.3	16.7	86.9	13.1	-3.6
11 安心、わからない言える	92	75.4	16.6	79.7	20.3	-4.3	89.9	10.1	91.0	9.0	+1.1	98.4	6.6	94.3	5.7	+0.9

考察 各項目について、光輝2との比較

- 「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業に主体的に取り組んでいる」の項目では、わざわざ肯定的な推移が見られる。それぞれの項目において、『光輝1』、2から引き続き肯定的な回答をしているといった『その生徒が肯定的な回答をしている理由が想定できる』か、どうかは重要である。もしそうでなければ新たな表れとして、許意強く見守ることや教育相談、三者面談の機会を活用し、個に寄り添うことも必要ではないだろうか。
- 「授業がわかるようになる」については、2、3年生で大きくポイントダウンしている。9月の実力テストを経て、自分の学力をあらためて客観的に認識したことや進路を見据え、「命よりもっと授業がわかるようにならねばならない」といった思いが反映されているのだろうか。または、我々の授業スキルや授業内容が高齢になってきているためか、それだけ、教科担任の立場で、目の前の生徒の実態をイメージし、その理由として自分が納得できるものも見つけ出し、自身の授業や学校、学年経営に活かしてほしい。
- 「信頼できる先生がいる」の項目では、1年生の実態と2、3年生の実態で大きな差が見られている。この項目についても、『光輝1』、2から引き続き肯定的な回答『理由が想像できる具体的なエピソード』の観点で、それらの生徒をとらえる必要がある。また、1年生については、小学校からの1年生の教師との信頼関係の捉え方についての理解が必要であり、数字だけでは真意な解釈は難しい。学級担任、学年主任それぞれの立場で考察していただきたい。
- 「安心してわからない言える」については、どの学年でも肯定的な推移している。特に1年生では大きく向上しており、1年生独自でしかけている「わからん印」がわからないと言えない言える手立てになっているのではないだろうか。そういった手立てが効果のあるものであったのかについて、生徒の声から考察することも必要である。

利用し
るか)
係作り
増や
して提
むため
から家
活動を
解決



⑥考察
 1年生
 ・総合の授業との絡みもあったが、「いいとこみつけ」を授業の中に波及させることができた。子どもの方が、よく、周りの子どもを見ているなと思う部分もあり、教員自身にもいい影響を与えた。
 「わからん印」は、子ども達の理解度を上げていくための有効なツールになったといえる。時間的に十分とれているかどうかはなんともいえないが「わかりたい！」と思う子どもの気持ちには沿うアイテムとなったといえよう。
 2年生
 ・「FMSS」により、授業で活躍した生徒を見つける取り組みやテストに向けて予想問題を立て、テストの内容とリンクさせる取り組みなど、仕掛けてきたことは定着している。また、新しく始めた「ま☆なび」も多くの生徒がまじめに取り組んでいる。一方で、今回の結果からは、スポーツの部や合唱の部などの行事を通した成長が顕著であることがわかり、行事が終わった日常の中で意識を高めていくことが課題である。

R | 岳洋中学校のPDCAサイクル アンケート結果

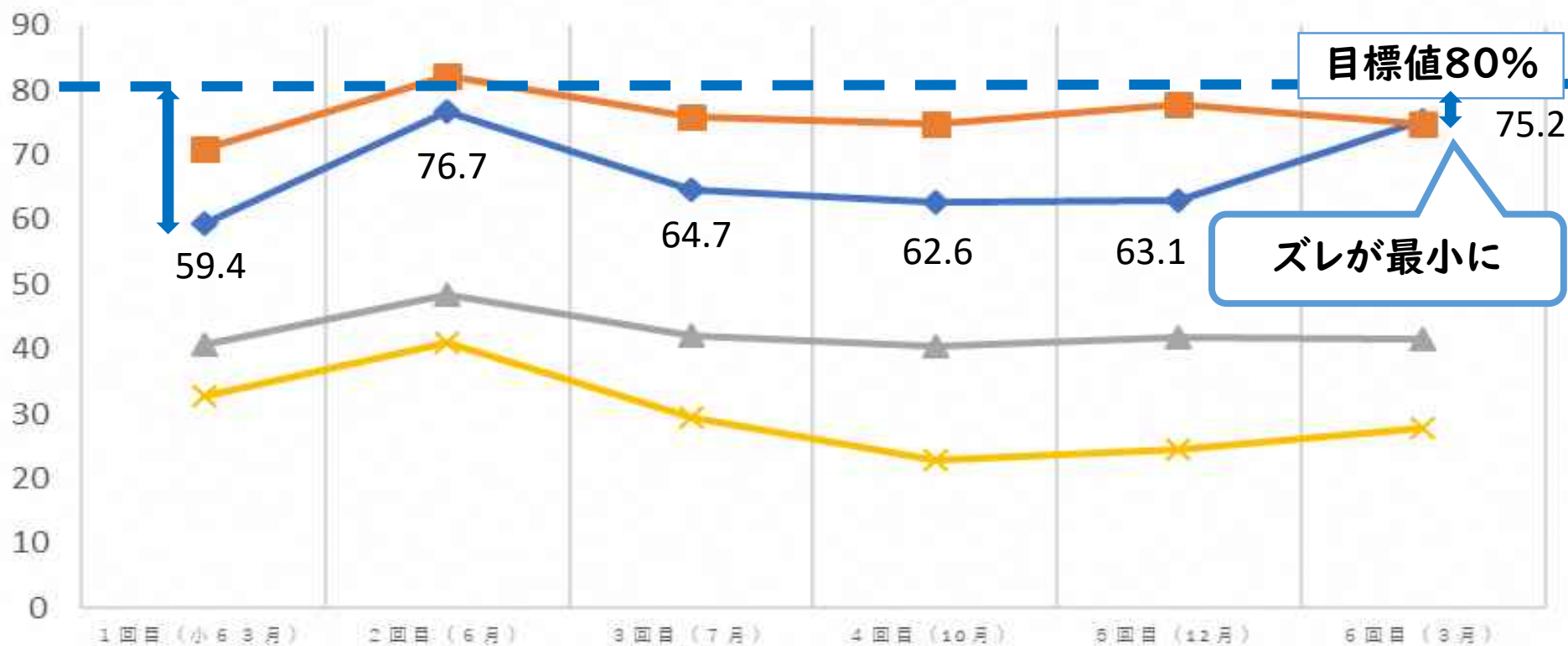
1年生

◆ 学校が楽しい

■ みんなで何かをするのは楽しい

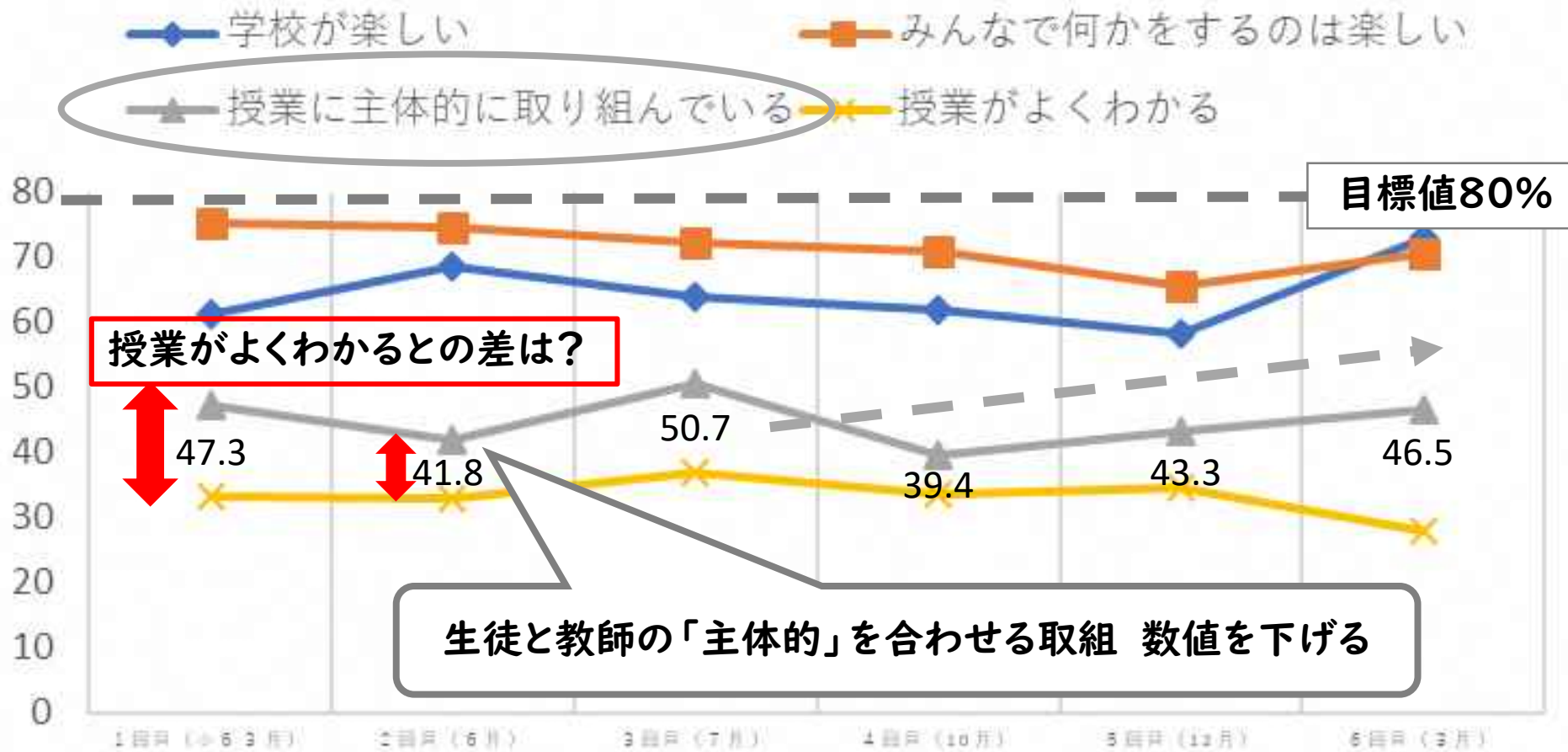
▲ 授業に主体的に取り組んでいる

✕ 授業がよくわかる



R | 岳洋中学校のPDCAサイクル アンケート結果

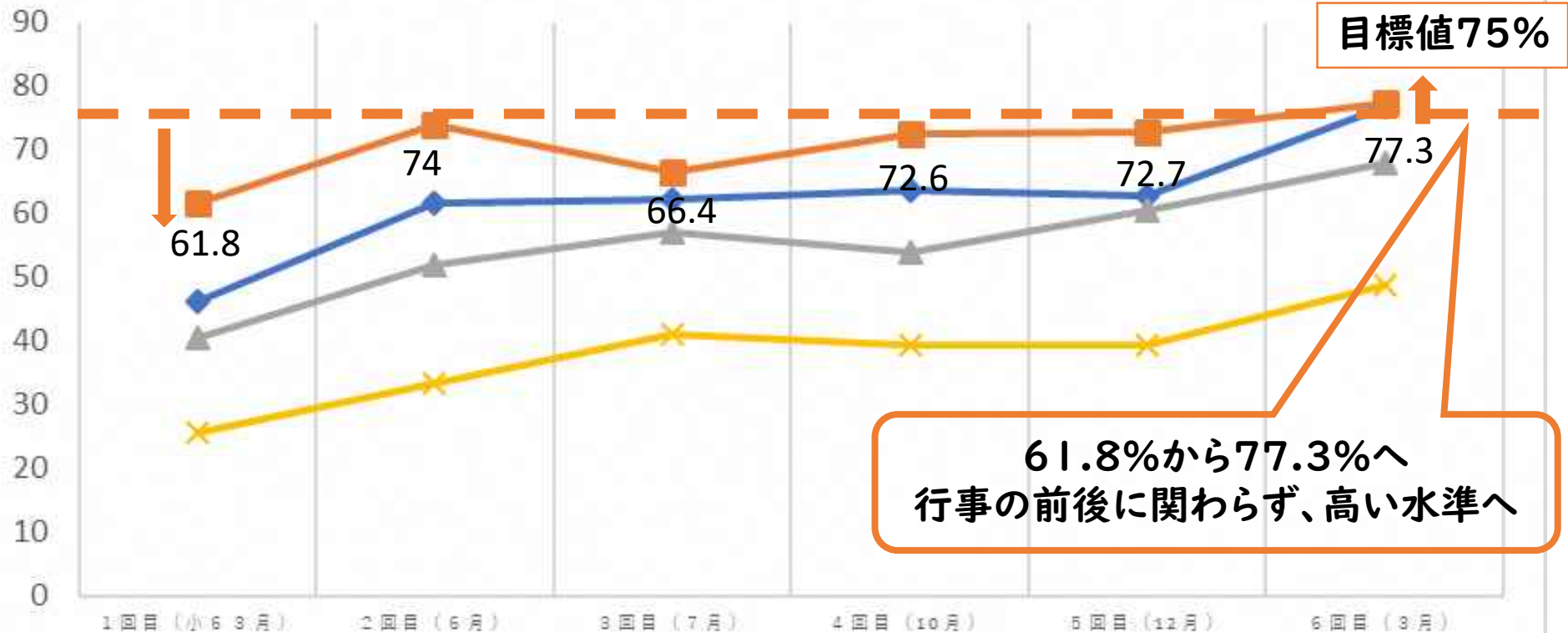
2年生



R I 岳洋中学校のPDCAサイクル アンケート結果

3年生

- ◆ 学校が楽しい
- みんなで何かをするのは楽しい
- ▲ 授業に主体的に取り組んでいる
- ✕ 授業がよくわかる

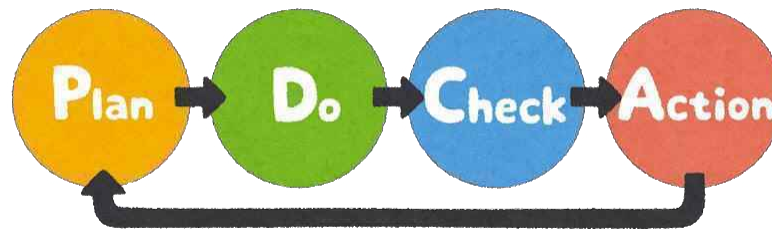


R | 岳洋中学校のPDCAサイクル 考察

成果

- 若手からベテランまで同じデータをもとに子どもの声をとらえる。
 - 観の共有 (生徒を見る目・生徒を見立てる目・生徒のこれからを見通す目)
 - 教師力の向上
- 職員全員が取り組むカリキュラムマネジメント
 - PDCAサイクルを日常的に意識
 - 現状を維持しようという停滞感がなくなる

魅力ある学校づくり 調査研究事業



生徒の声をどのように
自校のPDCAサイクルに活かしていくか

2年目 事業の浸透

PDCAサイクルを行う上でのポイントを整理



生徒の声 (アンケート)

- ・生徒の現状や傾向
- ・教師の認識とズレ



生徒にとって必要な教育活動を**プロデュース**する

Check!

①これまでの取り組みから

- 見つける
- 修正する
- 絞って力を入れる

②新たな取り組みを始める



子どもがどう成長するか
見立てる (目標を設定する)



取り組む



進捗状況を確認し**修正**する

- ・しかけなおし
- ・短期?長期?で結果



生徒の声を見立てる



各校の研修やプランニングに参加させていただき、
ありがとうございました。

生徒の声を見立てる

同じ学校内でも学級のアンケート結果は大きく異なる
(小笠北小より資料提供)

ワーク: 子どもの声(小笠北小)を分析

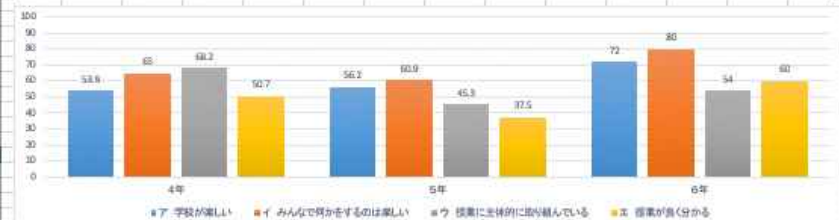
データ 7月調査において「あてはまる」と回答した生徒の割合



データ→課題

ワーク: 子どもの声(小笠北小)を分析

データ 7月調査において「あてはまる」と回答した生徒の割合



データ→課題

生徒の声→生徒の現状・生徒の傾向(良さ・課題)

教師の認識とのズレはないか

教育活動をプロデュースする



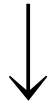
私たちの行っている教育活動は「どれも子どもにとって+ (プラス) の取り組み」でも・・・それが子ども達にどう効いているかを何をもって説明するのか？

- 一部の子どものための活動になっていないか
- 教師の自己満足になっていないか
- 子どもの目的や意図は伝わっているか



子どもの成長を予測する

成長 (数値が上がる・数値を下げる)



正しく認識する・・・取り組みの目的を理解
メタ認知の精度



ア～エの項目の中で、○に着目し、
きっと目の前の子ども達は、正しく認識すれば、
「1年後に10人中□人が当てはまると答える」であろう

結果

教師と生徒との取り組みへの、感覚のズレがなくなってくる
= **子どもの声が聞けている (取り組みが浸透している)**

進捗状況を確認しながら 生徒の声でチェック！

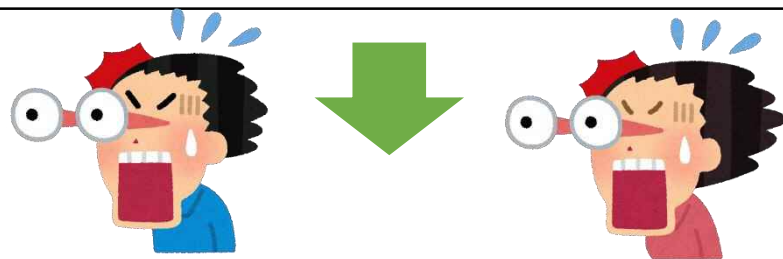
短期で結果が出てほしい取り組みなのか
(ステージごと、学期ごと)

長期で結果がでると思われる取り組みなのか
(1年後)

予定通りの手応え



思ったより効いていない？



そのまま(ズレなし)

しかけなおし(ズレの修正)

そもそも、一律同じことをやってうまくいく活動はあるのか？
→ 子どもの声を聞いていないのでは？
→ 教師がやらされ感を感じていないか？ → 形骸化



子どもの声で教育活動を点検し、 子どもにとって魅力のある教育活動にしたい。



生徒の声 (アンケート)

- ・生徒の現状や傾向
- ・教師の認識とズレ



生徒にとって必要な教育活動を**プロデュース**する



Check!

①これまでの取り組みから

- 見つける
- 修正する
- 絞って力を入れる

②新たな取り組みを始める

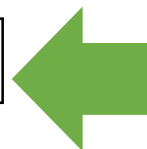


進捗状況を確認し**修正**する

- ・しかけなおし
- ・短期?長期?で結果



取り組む



子どもがどう成長するか
見立てる (目標を設定する)

魅力ある学校づくりへの期待

魅力ある学校づくりとは・・・

「生徒とともにある学校づくり」

～生徒の教育課程への参画～

教師：プロデューサー 生徒：俳優



魅力ある学校づくりの今後への展望

魅力ある学校づくりの浸透

→ 菊川型カリキュラムマネジメント

- ・次年度以降も市教委がアンケート結果を各校より集約し、データの見方や活用例を使って研修をする。
(生徒指導研修・学び続ける教員研修・初任研)



生徒による魅力ある学校づくり

- ・学校アンケートの中に、生徒会・児童会が決めたアンケート項目を入れ、その結果をもとに生徒の声を生徒がPDCAサイクルをまわす試み(絆づくり)